

資料提供

平成18年3月23日

(室名)化学物質研究室

(担当者)宇野

(電話)0436(23)7777

Email:kankyoken@ma.pref.chiba.lg.jp

環境技術実証モデル事業「非金属元素排水処理技術分野(ほう素等排水処理技術)」
における平成17年度実証試験結果報告書について(お知らせ)

環境技術実証モデル事業 非金属元素排水処理技術分野(ほう素等排水処理技術)における平成17年度実証試験結果報告書を、実証機関である千葉県が作成し、環境省の承認を得ましたのでお知らせいたします。

1. 背景・経緯

環境省では、既に適用段階にありながら、環境保全効果等について客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術を対象として、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証する環境技術実証モデル事業を実施しています。

平成17年度環境技術実証モデル事業非金属元素排水処理技術分野(ほう素等排水処理技術)において、実証機関である千葉県が、非金属元素排水処理技術分野(ほう素等排水処理技術)実証試験要領(平成17年3月29日)に基づく試験を日本電工株式会社のB-クルパックについて実施し、その結果を実証試験結果報告書として取りまとめました。

2. 報告書の内容

今回実証試験を行ったほう素排水処理技術は、ほう素を選択的に吸着するキレート樹脂を充填した樹脂塔に排水を通水することによってほう素を吸着除去するものです。また、除去したほう素はキレート樹脂を再生専用工場で再生する際に回収するものです。今回の実証試験により、処理水のほう素濃度、ほう素除去率、ほう素回収率等について確認されました。

日本電工株式会社のB-クルパックの技術に関する詳細な実証試験結果報告書等は、環境省の環境技術実証モデル事業ホームページ(<http://etv-j.eic.or.jp/>)から自由にダウンロードすることができます。

なお、環境技術実証モデル事業による技術実証の結果は、環境技術の性能を保証するものではなく、一定の条件下における環境技術の環境保全効果についてまとめたものです。実証対象技術についての詳しい説明等は、メーカーに直接お問い合わせ下さい。

<平成17年度実証対象技術>

B-クルパック(ほう素回収イオン交換塔) / 環境技術開発者：日本電工株式会社
実証試験結果報告書概要版(PDF 373KB) (<http://www.wit.pref.chiba.jp>)